

平成29年度

(公社)日本ホッケー協会中学校部会

第1回常任委員会議事録



期 日:平成29年5月21日(日) 13時00分～

会 場:岸記念体育会館 1F101号会議室

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

参加者 (敬称略)

中学校部会会長:森山智紀(大分県:ここのえ緑陽中学校長)

中学校部会事務局長:馬場治男(埼玉県:美杉台中学校)

会計:北島沙紀(埼玉県:美杉台中学校)

事務局:久保克敏(京都府:瑞穂中学校)

常任委員会

・構成員:16名

・出席者:13名

規約 第6章 第19条に
則り本会は成立

常任委員:苅宿文子(東北) 大嶋寿美(関東) 前田弘美(北信越) 小酒井梨紗(東海)

鈴木良子(近畿) 道端良之(中国) 岩尾幸美(九州)

U-16 海外遠征事務局:幸田伸也(奈良県:榛原中学校)

吉原荘二(宮城県:築館中学校)

文責:久保克敏(事務局)

1 開会

2 あいさつ

会に先立ち、森山智紀中学校部会長(大分県ここのえ緑陽中学校長)にご挨拶をいただく。

3 協議事項

(1) 第47回全日本ホッケー選手権大会・・・・・・(大会実行委員会)

・「実施要項」「会場関係」その他の検討

別刷資料あり

実施要項は6月中旬には、中学校部会HPにより掲載予定

・宿泊・弁当要項について

東武トップツアーズ大分支店の飯倉様に来ていただき、説明を受ける。

・各ブロック参加枠数の決定

全国大会内規に則り、昨年度12月末時点の登録チーム数(ブロックまたは県予選に参加をしているチームで「個人登録料」を支払っているチーム数による比例配分により参加枠を決定した。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催枠	合計
男子	0	3	4	3	2	5	3	1	2	1	24
女子	0	3	4	5	2	4	3	1	1	1	24

- ・全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の再確認

<全国大会シード権（組み合わせ抽選）について>

シード権については、9 チーム（東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の各ブロック 1 位+開催県）を第1シードとし、1つのブロックには、シードされたチームが2校入る。

ただし、ブロック予選をおこなわないブロックは第1シード扱いをしない。

具体的には・・・開催地枠と昨年度のベスト4に入ったブロックは、今年度同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

平成28年度男子ベスト4 優勝：栃木（関東）準優勝：島根（中国）
3位：栃木（関東）島根（中国）
開催地枠 大分（九州）



平成29年度は、開催地枠と関東ブロックと中国ブロックの1位の3チームについては、先に抽選を行い、この3チームについては同一ブロック内に、各ブロック予選1位のチームが入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。

<決勝トーナメントの組み合わせ抽選>

決勝トーナメントの組合せについては、一昨年度より全ての予選リーグの試合が終了した時点で抽選を行っている。今年もこの方法でおこなう。

(今年度は、男女で会場が違うので2会場での抽選となる予定。)

<競技日程について>

大分全中大会では、2会場で行われるため予選リーグと決勝トーナメント1日目で男女で会場が入れ替わることを確認した。

	男子会場	女子会場
予選リーグ（1日目）	玖珠町メルヘンの森スポーツ公園 【ウォーターベース】	九重町活いきランド多目的G 【ロングパイル/ゴムチップ】
決勝T（1日目）	九重町活いきランド多目的G 【ロングパイル/ゴムチップ】	玖珠町メルヘンの森スポーツ公園 【ウォーターベース】
決勝T（2日目）	男女とも玖珠町メルヘンの森スポーツ公園【ウォーターベース】	

＝昨年度の決定事項＝

平成29年度より、全中出場ブロック枠を最大「4」にする方向で、昨年度、協議を進めてきた。第2回目の常任委員会までに、常任委員会が各ブロックからの意見を聞き、概ね最大「4」で了承いただいた。

次に、その削減をした参加枠を、どのように配分するかという議論を重ねる中で、「前年度優勝ブロック」に1枠を与えるという案で決定した。（平成28年度末）

しかし、「前年度優勝ブロック枠」については、昨年度（平成28年度）の段階で周知できていなかった内容であることから、この「前年度優勝ブロック枠」の運用については、平成30年度から実施するべきと判断した。

このことにより、本年度（平成29年度）については現状の「最大5」で開催し、平成30年度より「最大4」+「前年度優勝枠（1）」により実施する。（地元開催枠は継続）

(2) 平成28年「事業報告」「収支決算報告」について

資料 1、2

資料1について事務局より、資料2について会計より報告がある。

(3) 平成29年度中学校部会役員(案)について

資料 3

2年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない

- ・会長・・・今年度全中大会開催地(大分県このえ緑陽中)より森山校長に願います。
- ・副会長・・・次年度全中大会開催地(島根県仁多中)より白石 睦校長に願います。
- ・常任委員、専門委員の交代について確認をし、承認される。

- ・四国ブロックは現在香川県ホッケー協会の川原さんに連絡役をしていただいている
今後も四国ブロックが継続的に全中参加が可能であれば、常任委員(綾南・協和・塩江
中学校の顧問の中より)を選出する。

(4) 中学校部会規約について

資料 4

昨年度の全中大会で、生徒がけがをして訴訟問題になりかけた事象があった。その時にも中学校部会として保護者、学校に「この大会は学校管理下のもとで行われている大会である。」ということをお話した。やはり確認しておくことは、

難しい判断が迫られる場面に度々直面するが、判断の基準は

第2章 目的

第3条「本会は(日本中学校体育連盟規約に従い日本ホッケー協会と協力して)ホッケー競技をとおして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

となる。

つまり、当部会は、義務教育である中学校の活動であることが大原則であることから「学校管理下」と認定できるか否かが重要なポイントになる。

- ・事務局の場所の変更を確認した。

(5) 平成29年度「事業計画(案)」「収支予算書(案)」について

=「事業計画」=

資料 5、6

- ・ブロック大会日時と会場の確認
- ・常任委員会(第2回)の日程・場所の確認 (予定)

平成30年2月24日(土) 場所: 埼玉県飯能市美杉台中学校

=「収支予算書」=

平成28年度はJHAより200万円の補助金が出た。(海外遠征に向けて)また、江副財団より、補助金をいただきU16選手に還元をすることができた。

平成29年度

- ・全中大会補助金: 90万(JOCからの補助金20万を含む)
- ・U16海外遠征補助金: 200万(昨年度)
- ・江副財団より240万

(6) 中学校部会協力金「個人登録料」の納入について

資料 7

＝個人登録料を始めた経過＝

* H24 年度全国委員会 (H24.8.17.) において、今後も継続的に U16 海外遠征を続けていくにあたって、引率スタッフの自己負担を軽減するための補助金として、中学校部会「協力金」の値上げすることで同意を得た。

* なお、具体的な金額等について検討 (H24 第 2 回常任委員会、H25 第 1 回常任委員会にて) した結果、選手 1 人に対して登録料として協力してもらうことが、公平感があり良いという結論に至った。

* H25 年度全国委員会 (8/16) にて承認され、中学校部会として登録料を徴収することとなった。

* 平成 29 年度の「登録料」徴収について

1) 各常任委員から、ブロック内各チームに「個人登録料」の納入について連絡

※ 6 月 1 日に中学校部会 HP にアップ予定

2) 併せて、常任委員は、ブロック内各チームの 6/1 現在の部員数を調査し事務局に報告 ※ 報告先＝事務局会計：北島 および 事務局：久保

3) 別紙「資料 7」の要領にて、各チームは 6/30 までに登録料を納める。

4) 各常任委員は、納入の滞っているチーム等に催促をする。

(7) 全国大会内規事項

資料 8

・ H30 年度以降の全中大会開催地について

H30：四国ブロック・・・島根県開催で決定

(昨年度、事務局長、事務局で地元へ挨拶 (済))

H31：近畿ブロック・・・滋賀県開催で内定

今年度中に滋賀県に事務局より正式に挨拶

ただし、コートが変則的になるので (ウォーターベース 3 面、ロングパイル 1 面)、大会運営 (競技運営規定) については検討を重ねる必要がある。

H32：東海ブロック・・・静岡県が検討中

H33：関東ブロック・・・埼玉県が立候補

(8) 合同チームの承認について (事務局)

・男子13(昨年10)チーム、女子8(昨年6)チームが申請

《申請状況5月13日現在》

ブロック	男 子	女 子
東 北	○青森(堀口6・三沢第一1) ○宮城(築館11・栗原西5)	○山形(高島4・米沢第二1・米沢第三1)
関 東	○埼玉 ○栃木(大沢9・落合2)	○埼玉 ○栃木(豊岡7・落合3)
東 海	○岐阜(那加5・中央5)	
北信越	○富山(石動7・蟹谷4) ○新潟(巻東19・坂井輪3・西川1)	○富山(石動9・蟹谷5)
近 畿	○兵庫(丹南16・篠山3)	○兵庫(篠山7・丹南5)
中 国	○山口(玖珂14・高森みどり2)	○山口(玖珂10・高森みどり5)
四 国	○香川(綾南8・塩江1・協和1*) ○愛媛(松前5・北伊予4・岡田1)	○香川(綾南6・協和2・国分寺1*)
九 州	○佐賀(伊万里6・啓成2) ○大分(ここのえ緑陽5・北山田1・玖珠3・日出生2)	○大分(ここのえ緑陽4・北山田2)

※校名後の「*」印は同一市町村でない学校

- * 学校長の承認は必要 . . . 学校管理下による大会実施を守る
- * 教員による引率は必ず必要である
- * 合同チームとして認められる範囲は . . . 活動実績のある3チームまで
- * レンタルによる合同チームについては、現状では全国大会については認めることはできない。

・大分県の合同チームについて

昨年度の常任委員会でも確認済みであるが、今回大分県は4つの学校での合同チーム編成で参加をする。本来、認められているのは最大3校までの合同チームであるが、「北山田中学校」「玖珠中学校」「日出生中学校」が平成31年に合併し、校名が「くす星翔中学校」と決定している。このような状況を考え、検討した結果特例で4校の合同チームを認めた。

・埼玉県の合同チームについて

昨年度の2月の常任委員会で、4校の合同チームについて依頼があった。埼玉県の現状は各校の学校長も承認されており、普及面からも、また今後の生徒数の減少のことを考えていくなかでもぜひ認めて欲しいという内容であった。中学校部会としては、まずはブロック(関東)で、このことが承認されていない中で、常任委員会で検討することは無理であると判断し、差し戻す形を取った。

今回、関東ブロックの常任委員より説明を受けたが、関東ブロック内で全チームの総意が得られなかったと聞き、今回の埼玉県の4校による合同チームの承認を認めることはできなかった。

よって3チーム以内での合同チームを検討し、6月8日までに事務局へ提出するように伝えた。



そのほかの合同チームについては常任委員会で確認・承認を取ることができたので、各ブロックの常任委員よりその旨を学校に伝えることを確認した。

(9) 競技部・審判部より

- ・今年度日本ホッケー協会の登録がWeb登録になった報告。
- ・中学校部会として、今後は審判部や競技部に出る先生方を選出していく。

(10) 第17回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会

- ・この大会は協会の主催大会であり、監督またはコーチが「日本体育協会公認コーチ」の資格を取得しているものであること。
- また、今年度より手当者についても、日本ホッケー協会に登録をされている者となる。

(11) ジュニアユース U16 日本代表チームについて・・・・・・・・・・(遠征事務局：幸田)

- ・選考会について

日程：平成29年9月16日(土)17日(日)18日(月：祝)

場所：栃木県日光市ホッケー場、今市青少年スポーツセンターホッケー場

宿舎：青少年スポーツセンター

遠征スタッフ・選考スタッフについて

選考スタッフ {
・海外遠征スタッフ
・中学校部会役員(事務局、常任委員)
・(NTSスタッフ)

《選手の選考について・・参加の条件》

*高校でホッケーを続ける確かな意思がある3年生

*将来、教員としてホッケーの指導に携わる意思のある3年生

の条件を満たし、かつ下記(①～③)のいずれかに該当する3年生

①地区ジュニアユース代表者

②全中大会優秀選手

③監督推薦(ホッケーだけでなく、学校生活も含めて推薦できる選手)

各地区優秀選手の選考基準について

*昨年度と同じ方法で実施をする。

=選考方法の確認=

・NTSの趣旨に則り、3つの地区(東・中・西)で代表選手(優秀選手)の選考を行う

・全中大会ブロック予選で各ブロックが組織的に選考～JHAに上程する。～

有望な選手の早期発掘とU-16日本代表の1次選考の場とする。

＝選考方法＝

- ・各ブロック男女 10 人程度（ブロックにより人数の多少有り）
- ・NTS の趣旨により、学年は制限をしないで選考をする。（U-16 選考会と区別をする）
- ・選考された選手の名称「東（中・西）日本ジュニアユース代表」とする。
- ・選考された選手には、「認定書」を授与する。
※認定書の作成は、常任委員で行う。
- ・選ばれた選手は、9 月に行われる「U-16 ジュニアユース日本代表選考会」に優先的に参加できることとする。（ただし 3 年のみ）

遠征の概要 ～現時点でわかっていること～

- ・11 月 19 日から 28 日でオーストラリアのパスを予定

* U16 アジアカップについて

下記の要領で U16 アジアカップが開催されるという情報について、多くは高校生が選考されることが予想されるが・・・中学校部会も協力をして取り組む必要があることを確認した。

大会の詳細については下記の通り

1. 日時・開催地 男子 2017.11.6～11.12 ダッカ/バングラデシュ
・・・FIH カレンダーによれば上記→古賀国際委員長の調べでは未定
女子 2017.10.16～10.22（開催地は未定）
2. 競技規則等
 - ・ホッケー 5 ルールによる（登録できる選手は 9 名以下）
 - ・年齢制限・・・2000.1.1～2003.12.31 の間に生まれた者
（現高校 2 年生の早生まれ～現中学 2 年生の 12 月生まれまで）
3. 外務省危機情報
 - ・男子開催地（ダッカ/バングラデシュ）→→レベル 2
▽
*外務省コメント：首都ダッカを含むバングラデシュ全土について
不要不急の渡航はやめて下さい。
（テロに対する特別警戒）【継続】

4 その他

- ・ブロック大会結果の HP へのアップについて

各ブロック大会が終了したら、各ブロック常任委員の方で速やかに中学校部会 HP にアップをする。

地区代表選手（東・中・西）の選考結果は、NTS スタッフが事務局までデータを送信し、事務局よりアップをする。

認定書については、ブロック大会の閉会式などで渡してもらう。

- ・全中大会優秀選手について（選考方法など）

全中優秀選手の選考方法については昨年度のものを踏襲することで確認をした。

また、最優秀選手に選ばれた選手及び指導者には JOC の研修が義務付けられていることを確認した。

5 閉会

日本ホッケー協会理事兼中学校部会事務局長の馬場治男様から閉会のご挨拶をいただいた。